

各校の成果と課題、「今後、力を入れて取り組む内容」

中学1年生

学校	教科	成果○と課題●	今後、力を入れて取り組む内容
川之江北中	国語	○ 漢字を書いたり、読んだりすることができていた。 ● 自分の考えが伝わるように文章を書く問題の正答率が低かった。	・ 自分の考えを伝える短作文などを書き、書くことに慣れさせていく。 ・ 歴史的仮名遣いについて復習する。
	社会	○ グラフの読み取りや地図の読み取りについては、平均的な理解ができている。 ● 数値を元に考察することを苦手とする傾向が見られる。	・ 基礎学力の定着に向けて、振り返り学習を効果的に行う。 ・ 資料からの読み取りや考察を繰り返すことで、思考力の向上を目指す。
	数学	○ 文字式の基礎については理解できている。 ● 文章題を解くための方程式を立式する問題の正答率が著しく低かった。	・ 基礎・基本の定着を図るため、これまで学習した内容を繰り返し復習する。 ・ 穴埋め問題を活用し、記述式問題に慣れさせていく。
	理科	○ 思考力を問う問題や気体の性質についてよくできていた。 ● 基本的な語句を覚えることができていない。	・ 授業の中で問題演習をする時間を増やしていく。 ・ すららドリルを行うなど ICT 機器を用いて、基本的な語句の復習の時間を確保する。
	英語	○ 対話文やスピーチから必要な情報を読み取り、答える問題では目標値を達成することができた。 ● 語順を理解し、正確に書く問題では正答率が著しく低かった。	・ これまで学習した語句を使って英文を書く力を養うために英作文の練習をする。 ・ 語彙力を付け、長めの対話文を読み取る力を身に付けるために長文問題に取り組んでいく。
川之江南中	国語	○ 説明的文章、文学的文章の読解、漢字の読み書き、話合いの内容を捉えるなどの問題は全国平均を上回るか、同程度でよく身に付いている。記述問題の無解答率が低く、意欲的に問題に取り組む姿勢が見られる。 ● 資料を読み取って文章にまとめたり、資料を基に自分の考えをまとめて文章にしたりすることが全国平均を下回っており、資料活用、文章を書く力が十分に身に付いていない。	・ 資料を読み取り、まとめる学習や資料を基に考えたことを、原因と結果をはっきりとさせて文章にする学習を行っていく。指定された形式、内容で作文練習し、書く力を付けていく。
	社会	○ 正答率が全国平均を上回っている。特に、思考・判断・表現力は全国平均を大きく上回っている。 ● 歴史分野がやや低く、文化の特徴を捉える問題に課題がある。	・ 毎時間の復習を継続して行っていく。 ・ ICT機器を効果的に使い、歴史を大きな枠組みで捉えられるよう、まとめの学習を充実させていく。
	数学	○ 正答率が全国平均を大きく上回り、学習内容が定着している。 ● 記述式問題の正答率が低く、思考・判断・表現の力に課題がある。	・ 話合い活動の機会を増やし、説明する力を付けさせる。 ・ 考え方、解き方をノートに記述する活動を取り入れる。
	理科	○ 生物分野、化学分野の正答率が高い。 ● 物理分野（光）に関する問題を苦手としている生徒が多い。	・ chromebook を活用した授業実践を重視する。 ・ 物理分野において、基礎的な知識の定着に向けた復習を行う。
	英語	○ 英文を読んだり聞いたりして、内容の要旨を理解する力が付いている。 ● 場面に応じて英文を書く力が弱く、無解答率が高い。	・ まとまった英文を読み、英問英答に取り組む。 ・ 英文を書く力を付けるため、基本文を反復練習し、定着させていく。

三島東中	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほとんどの領域で、市・全国平均を上回ることができている。</li> <li>● 「書く」領域の正答率が、低いため自分の意見を書いたり、書いてあることを要約したりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の意見を短い文章で書いたり、読み取った内容を要約したりすることに課題があるため、反復で取り組むことが必要である。</li> </ul>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活用問題の正答率は全国平均を上回り、他の問題でも市の平均を上回っている。</li> <li>● 地理的分野の「世界各地の人々の生活と環境」について、やや理解不足がうかがえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的な部分の復習ができるように、授業中の課題や宿題で反復問題ができるようにしていく。</li> </ul>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎問題の正答率は全国平均を上回っている。</li> <li>● 説明を要する記述問題の正答率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数と式の領域の定着のために反復練習を行う。</li> <li>・ 記述式の問題を解く機会を多くし、解き方の説明ができるようにする。</li> </ul>
	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 化学分野における基礎・基本の定着が見られる。</li> <li>● 生物分野において基礎内容の定着に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テストなどでの確認問題を継続的に行っていく。</li> <li>・ 実験や観察を多く取り入れ、比較したり、考察したりする学習に力を入れる。</li> </ul>
	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リスニングや英文の読み取りにおいて全国平均を上回っている。</li> <li>○ 日常的な話題については、知識・理解が進んでいる。</li> <li>● 英作文の正答率が伸びておらず、文法の基礎・基本を定着させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英作文の機会を増やし、文法の定着へと繋げたい。</li> <li>・ 即興的な会話の中で自然と英文が作れるようにしていく。</li> </ul>
三島西中	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字や語句、文法といった言語事項の力は身に付きつつある。</li> <li>● 記述式問題の正答率が市・全国平均を下回っており、書いて表現することへの意欲付けが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎・基本の力の定着に向け、漢字や語句の小テストや反復学習を継続していく。</li> <li>・ 学習した語句を使って短文を書くなど、覚えたことを生かす喜びを味わう機会を多くする。</li> </ul>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史分野は目標値を超えており、興味関心が高い。資料活用も目標値を超えている。</li> <li>● 地理分野の世界の諸地域について、やや理解不足がうかがえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット端末のドリル学習ソフトウェアを用いて基礎学力の定着を図る。</li> <li>・ 地図や資料を読み取る学習活動を多く取り入れ、考察する力を付ける。</li> </ul>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正答率が全国平均を上回り、基礎的な知識・技能は身に付いている。</li> <li>● 記述式問題の正答率が低く、論理的な説明などの表現力を高めていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き小テスト等で反復練習を行う。</li> <li>・ 思考力を必要とする問題を積極的に取り入れ、問題を解決したり、解決の過程や結果を論理的に表現したりする活動を増やす。</li> </ul>
	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思考・判断・表現の観点や記述式問題で正答率が高く、既習内容をまとめ、表現する力が付いている。</li> <li>● 基礎・基本の正答率が全国平均より低く、課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テスト等による反復練習を行い、基礎学力の定着に努める。</li> <li>・ ドリル学習ソフトウェアを活用し、各生徒が自分の苦手な単元を復習する機会を多く設ける。</li> </ul>
	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「聞くこと」、特に内容理解の問題で他の平均正答率を上回っている。</li> <li>● 「読むこと」「書くこと」に関する問題の正答率が低く、文法事項の習得や文の組み立てに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語活動の中で、基礎的な文法の定着に力を入れ、学力の向上に努める。</li> <li>・ 英文の内容をつかみ、自分の考えを英語で書く機会を増やし、小テストやドリル学習を通して基本的な表現の定着を図る。</li> </ul>

三島南中	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な漢字の読みや文法、説明的な文章の内容を解釈する力が身に付いている。</li> <li>● 話し合いの内容を聞き取る問題や構成を考えて文章を書く問題の正答率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の中で書く場を設定し、目的を持って書く活動を取り入れる。</li> <li>・ 話したり、書いたりする力を付けるために、話し合い活動や聞き取る活動の機会を増やす。</li> </ul>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図を読み取ったり、気候と人々の生活を結び付けた問題で正答率が高い。</li> <li>● 資料を、基に考察し、表現する問題では正答率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な資料を多面的に読み取り、意見を出し合いながら考えたことを表現する活動を授業の中に取り入れる。</li> <li>・ 資料の読み取りを行う際には、表やグラフのどの部分に着目すればよいのか視点を与える。</li> </ul>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平面図形の問題における正答率が高い。特に図形の移動についてよく理解できている。</li> <li>● 数と式の領域における正答率が低く、文字式での表し方や1次方程式の計算における誤答が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数量の関係を文字式を使って表し、考え方を説明し合う活動を取り入れる。</li> <li>・ 小テストやすららドリルなどを活用して、基本的な計算問題に多く取り組み、解き方を身に付けさせる。</li> </ul>
	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活用問題の正答率は目標値を上回っている。特に、水溶液の性質や物質の状態変化に関する問題の正答率が高い。</li> <li>● エネルギーの分野で正答率が低く、用語の意味や作図方法の理解に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選択問題の正答率が高いため、大まかな理解で止まっていると考えられる。語句と説明文が確実に結びつくようにしたい。</li> <li>・ 語句を答える問題と、説明を答える問題（記述式）の両方から理解を深めていきたい。</li> </ul>
	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 語彙の知識・理解を問う問題の正答率が高い。</li> <li>○ 初見の長文に対する抵抗感は少なく、対話文を読み、内容を理解する力は身に付きつつある。</li> <li>● 記述の問題で正答率が低く、相手に伝わるように英作文を書くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な文法を用いて、相手を意識した文が書けるようにパターンを学び、練習帳などでアウトプットする機会を増やす。</li> <li>・ 小学校で既習扱いにされていることを補強する。</li> </ul>
新宮中	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎問題、活用問題の正答率は、全国平均・市平均をともに上回っている。基礎力も定着している。</li> <li>● 文章を書く問題に課題がある。読み取った内容を書いたり、自分の考えを明確にして書いたりすることを苦手とする傾向が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎力の定着を更に図るために、小テストやドリル学習に力を入れる。</li> <li>・ 読み取った内容を要約したり、自分の考えを明確にして文章に書いたりする活動に多く取り組み、書く力を身に付ける。</li> </ul>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎問題、活用問題の正答率は、全国平均・市平均をともに上回っている。地理的分野・歴史的分野ともに、バランスよく力が身に付いている。</li> <li>● 歴史的分野における年代の表し方や、資料や地図と関連付けた問題を苦手とする傾向が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要語句を覚えるために、小テスト等を反復的に実施し、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>・ 資料の読み取りや記述式の問題にも取り組み、応用力を身に付ける。</li> </ul>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎問題、活用問題の正答率は、全国平均・市平均をともに上回っている。特に、計算問題における正答率が高かった。</li> <li>● 関数領域において、具体的な事象から比例・反比例であることを判断し、答えを導く問題を苦手とする傾向が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の終わりに活用問題を解く時間を増やすことにより、知識を様々な問題に応用できる力を付ける。</li> <li>・ 個に応じたドリル学習を行うことにより、基礎・基本の定着を図る。</li> </ul>
	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎問題、活用問題の正答率は、全国平均・市平均をともに上回っている。単元ごとに見ると、生命、粒子、エネルギーの順に正答率が高かった。</li> <li>● エネルギー分野の基礎問題、思考力を問う問題に課題がある。特に、光の屈折に関する問題を苦手とする生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦手意識のある問題をじっくり解く時間をつくり、基礎学力を身に付ける。</li> <li>・ ドリル学習系ソフトウェアを活用し、自分の苦手な単元について知識の定着を図る。</li> </ul>
	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎問題、活用問題の正答率は、全国平均・市平均をともに上回っている。バランスよく基礎力が身に付いてきていると思われる。</li> <li>● 英文の読み取り、長文読解、場面に応じた英作文に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語彙力を強化し、正確で素早い内容の理解や情報の伝達が行えるようにする。</li> <li>・ 英語で思考し、反応する時間を増やし、更に英語に慣れていくことができるようにする。</li> </ul>

土 居 中	国 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法の理解と文学的文章を読み取る力が伸びてきている。</li> <li>● 漢字の書きと作文問題を苦手としている生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字の小テストを継続して行ってきたが、振り返りのテストを行いたい。</li> <li>・ 作文練習を行い、作文のルールを確認し、作文の楽しさに気付かせる。</li> </ul>
	社 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 記述式の問題の正答率が高く、説明する力は付いている。</li> <li>● 基礎的な用語を覚えることを苦手としている生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の最初に前時の振り返りを行い、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>・ 資料を読み取ったり、説明したりする力を更に伸ばしていく。</li> </ul>
	数 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図形分野の問題で正答率が高い。</li> <li>● 問題の理解力が不足しており、記述式の問題が苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的に小テストを行い、振り返りをしていく。</li> <li>・ 記述式の問題を授業や課題で解く機会を増やす。</li> </ul>
	理 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎を活用しての問題や記述問題の正答率が高い。</li> <li>● 語句を確実に覚えることを苦手としている生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しっかりとノートをまとめたり、教科書を読んだりして、基礎の定着を図る。</li> <li>・ 問題演習に集中して取り組んだり、すぐ答えを聞かずに解いたりする習慣を付ける。</li> </ul>
	英 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リスニングの正答率がやや高い。無答率が低い。</li> <li>● 長文を読んで内容を正しく捉えることや、英文を書くことが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文法事項の導入や練習に時間をかける。課題の工夫をする。</li> <li>・ 基本文や簡単な語句を用いて、まとまりのある文章を書く練習の機会を増やす。</li> </ul>